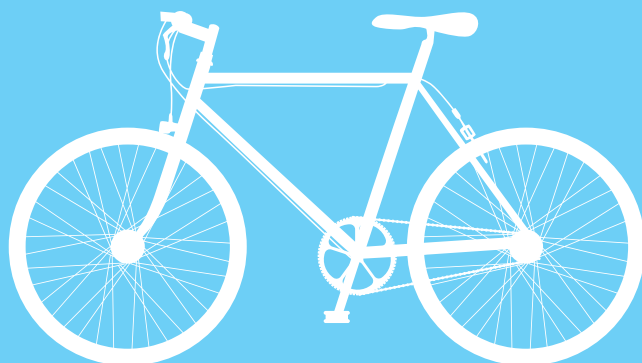




第7章

進行管理と定期的な見直し

- 1 進行管理と定期的な見直しの考え方
- 2 プランの実現に向けた推進体制





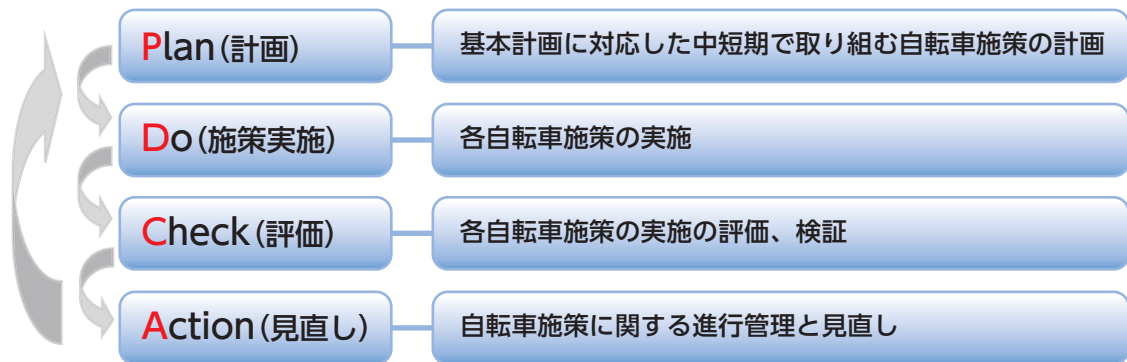
1 進行管理と定期的な見直しの考え方

「ふじさわサイクルプラン」の基本計画では、2030年(平成42年)を見据えた自転車施策の基本方針を示しています。また、中短期に取り組む自転車施策では、概ね10ヵ年を計画期間として、取り組んでいく自転車施策を示しています。

この「ふじさわサイクルプラン」の実現に向けては、方針に応じた評価指標を設け、中短期に取り組む自転車施策の実施状況を定期的に確認し、評価指標などを把握することが重要と考えています。

このため、進行管理については、定期的に進捗状況を把握し、評価、検証により課題となった内容に対応するよう各施策の見直しを行い、改善を図るPDCAサイクルを用いて進捗管理を行っていきます。あわせて、社会情勢や市民ニーズの変化に基づく確認・見直しが可能なよう、交通に関する市民意識調査を定期的に行い、自転車施策に対する満足度について定期的な調査も行っていきます。

また、中短期的な自転車施策の進捗や、社会経済情勢に大きな変化が生じた際には、本ふじさわサイクルプランの見直しを行います



PDCAサイクルによる進捗管理のイメージ

1-1 評価指標について

「ふじさわサイクルプラン」の実現に向け、定量的なアウトプットや市民満足度調査による評価指標を次のように設定します。

方針に応じた自転車施策の実施による評価指標の目標に対する達成度を定期的に検証することにより、施策の効果や達成状況を確認します。また、満足度など現時点では、定量化できない評価指標についても、各自転車施策を実施する中で、市民の意識・満足度を調査し、定期的に検討します。

方針1～走行空間整備～ 安全・快適に走行できる自転車走行空間づくり

評価指標	現状	目標
・自転車走行空間の整備延長 (道路空間再配分・新設)	－	・自転車走行空間を5km整備することをめざします。あわせて、検討していく路線の中で、整備を実現化する路線を増やします。
・鉄道駅周辺の自転車走行空間の充実度	－	・重点とする4つの鉄道駅について、設定したエリア内の整備をめざします。
・自転車走行環境に関する満足度	－	・自転車走行環境に関する満足度の向上をめざします。

方針2～駐輪環境整備～ 鉄道駅周辺を重点とした人にやさしい駐輪環境づくり

評価指標	現状	目標
・鉄道駅周辺の駐輪環境の充実度	－	・重点とする4つの鉄道駅について、駐輪環境の充実をめざします。
・自転車駐車場所に関する満足度	－	・自転車駐車場所に関する満足度の向上をめざします。

方針3～利用促進～ 市民や来街者が自転車利用しやすい環境づくり

評価指標	現状	目標
・自転車の利用割合	13.8%	・自転車の利用割合の現状維持をめざします。

※ 将来(2030年(平成42年))の代表交通手段構成の見通しでは、自動車利用の利用割合が、約6%程度、増加する見通しとなっています。このため、自転車施策の実施により、2008年(平成20年)時点の自転車の利用割合を維持していくことを目標としています。

方針4～交通ルールの遵守～ 市民と連携した交通安全の意識づくり

評価指標	現状	目標
・自転車の交通事故件数	478件 (H24)	・自転車に関連する交通事故件数を、200件まで減少させることをめざします。
・交通安全教室の受講者数	－	・自転車を含めた交通安全教室の受講者数を、前年より5%増加させることをめざします。

2 プランの実現に向けた推進体制

「ふじさわサイクルプラン」の実現に向けた推進体制としては、PDCAサイクルを用いた進行管理や、自転車走行空間の整備形態の調整など、実施する施策についての情報交換・調整などを行うため、市民、学識経験者、商業関係者、行政、関係機関などにより構成する「(仮)ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会」を設けます。

この協議会を中心に、市民の方々、商業関係者、交通事業者、関係機関などと連携を図りながら、「中短期で取り組む自転車施策」に取り組んでいきます。



計画の推進体制のイメージ